

青雲の志

岩手県立花北青雲高等学校
校長通信 第57号
令和5年2月20日発行
文責 校長 佐々木 伸良

2/14(火) 先輩と語る会 1, 2年生対象進路ガイダンス事業

2月14日(火)、1, 2年の生徒を対象に進路希望の達成に向けた取組について3年生から詳しく話していただきました。特に2年生は、2月から3月にかけて、何をすべきか、どのように取り組むべきかなど、具体的に知ることができました。



新型コロナウイルスだけでなく インフルエンザにも注意

2月に入り、県内ではインフルエンザの感染者が急増し、学級閉鎖や学年閉鎖となる高校が増えています。本校でもインフルエンザに感染する生徒が増えてきました。新型コロナウイルス感染症への感染も続いています。うがい、手洗い(手指消毒)、密となる場面でのマスクの着用などの感染防止対策をこれまで通り続けるようにお願いします。発熱、喉の痛み、咳、鼻水などの症状が出た場合は、登校せずに医療機関に行き、診察を受けてください。インフルエンザが疑われる症状がある場合は、速やかな処置が必要です。3月には、卒業式、高校入試があります。自分の体調管理にしっかり取り組むようにお願いします。

2/16(木) in 石鳥谷小学校 高校生が教えるプログラミング教室

2月16日(木)、石鳥谷小学校5, 6年生を対象に、本校のビジネス情報科1, 2年生の40名が講師となって、プログラミング教室が開催されました。初めての試みのため、本校の生徒も小学生も緊張していましたが、徐々に距離感をつかみ、楽しく授業を進めることができました。授業は、kahoot!によるクイズ、AI認識についての紹介と体験、VBA 国旗作成、progate 紹介など盛り沢山の内容でしたが、丁寧な教えにより、小学生の皆さんは、プログラミングへの興味を抱いたように見えました。



授業で学んだことを学校外で生かすことは、生徒自身にとって自己肯定感を高めることでも有益な経験です。

また、本校の専門科の特性を高めることは、本校の魅力化・特色化のアピールにもなります。特に、地域社会の未来の担い手として、地域貢献をすることは、地元の良さを再認識することにもつながりますので、これからも生徒を地域社会で学んだことを生かせる取組を推進していきます。